

12月の園だより

令和4年12月1日
目黒区立鷹番保育園園長



木々の葉が舞い落ちる情景や朝夕の寒さに冬の訪れを感じますが、寒さに負けることなく園庭では元気に遊ぶ子どもたちの声が響いています。ダイナミックな滑り台遊びは、まるでジェットコースターのようなようです。友達にぶつからないようよけながら滑ったり、階段を駆け抜ける子がくればサッとよけたり、自分たちで加減しながら遊ぶ姿になっています。滑り台だけでなく、無造作に積まれたタイヤにマットをのせて渡り歩いたり飛び込んだりしていますが、自分の身を守る術を知っているかのように振舞っています。子どもたちの自主性を大事にする保育を通して、自分自身はもちろん、友達と考えて行動することが自然にできる姿につながっています。年上の子にあこがれて同じようにやってみたい1,2歳児がいれば加減しながら接しています。自分がそうしてもらってきた経験が、今度はしてあげるほうになっています。そうするものだと大人が教えるのではなく、子どもから子どもへ伝承されていくことは異年齢の良さだと思います。これからも少しずつではありますが異年齢での関わりを増やしていけるよう、対策をとりながら工夫していきます。

運動会で友達と一緒に取り組む楽しさを経験した4,5歳児は、大きくなったね会に向けて期待が高まっています。先日のリハーサルでは緊張しながらも友達を助けたり、気持ちを合わせようと目と目を合わせていたりする姿がありました。友達の存在は大きく、時にはぶつかることもあります。互いに支えとなっているようです。なにより「楽しい」「もっとやりたい」という子どもたちの表情が輝いていました。本番が楽しみです。

行事予定

大きくなったね会（4,5歳児）

5歳児クラス懇談会

身体計測

避難訓練

保育園は

12月29日（木）から1月3日（火）
までお休みです。



「大きくなったね会に向けて」

子どもたちがそれぞれの目標に向かって頑張ることができた運動会。「次は大きくなったね会だね」と意欲を見せています。

4歳児は、子どもたちが登場人物のペープサートを作り「ちんぷくまんぷく」「めっきらもっきら」など、面白い妖怪言葉を覚えイメージを共有しながら話の世界を広げ楽しんでいます。子どもたちの希望を聞きながら役決めを行うと「〇役は少ないと寂しいから私もやってあげるよ」と友達の気持ちに気付ける姿もみられ、役ごとの振り付けも皆で考えてきました。

5歳児は、何冊かの本を読み合わせその中からどれをやりたいか子どもたちとたくさん話し合いを重ねひとつの題材に決定しました。9人ではすべての役をまかないきれないことに気付き「ひとり何役やる」「このセリフは〇〇にしたほうがいいよ」と試行錯誤を繰り返しています。小道具作り・ダンスも友達の意見を取り入れながら協力しあい作り上げています。クラス一丸となり、ひとつの劇に取り組むことでさらなる達成感・自信へと繋がっていくことでしょう。



ごっこ遊びの楽しさ ～ 乳児クラス ～



「一緒に遊ぼう」

1歳児クラス

登園するとすぐにままごとコーナーに行く子どもたち。遊具棚の中からお弁当箱とトング、ペットボトルのふたが入っているカゴを出すとテーブルに並べていきます。そして、お弁当のふたを開けるとトングで具材をつかんできれいに並べて、ふたを閉め、もう一つのお弁当箱にも同じように作っていきます。作り終わると「見てー」と嬉しそうにお弁当箱を保育士に持ってきて、ふたを開けて見せてくれます。保育士が「おいしそう、一つ食べて良い」と尋ねると、その中から一つ取り出して「はい」と渡してくれました。「ありがとう、おいしいね」と言うと今度はもう一つのお弁当箱と布を持ってきて「つんで」と言います。保育士が二つを包み終わる頃、もう一人の子が登園しました。すると、お弁当を作った子が登園した友達の所へ包んだお弁当箱を「はい」と渡しています。もらった子は笑顔で受け取ると、二人でバックにお弁当箱を入れ、「歩こう、歩こう」と歌いながらおでかけごっこが始まりました。友達と一緒にベンチに座り二人で顔を見合わせながら「おいしいね」とお弁当を食べる真似をしています。最近、自分が経験したことを再現して遊ぶ姿が出てきています。また、友達にも少しずつ興味が出てきて、一緒に遊びたい、同じもので遊びたいと名前を呼んで誘いに行く姿もあります。保育士も一緒に遊びながら、楽しめるように関わっていきたいと思います。



「かわいくなーれ」

2歳児クラス

「ここに座ってください」と鏡の前に椅子を置き、近くにいた友達に呼びかけている子がいます。どうやら美容師さんになりきっているようです。お客さんとなった子に「どんな髪にしますか」と聞きながら櫛で髪をとかしています。保育士が「プリンセスみたいにしてみよう」とお客さん役の子に尋ねると頷きました。すると「わかりました、プリンセスですね」とリボンの準備をし始めます。「これは最後につけますね」と言うと「ちょっとクリームつけるので目を瞑ってくださいーい。チョコチョコキしますね」と髪にクリームを塗ったりハサミで髪の毛を切ったりしています。保育士が「とってもサラサラだね、いい匂いだね」と伝えると、目を輝かせながら髪の毛の匂いを嗅いでいます。しばらくすると「できましたー」と美容師役の子が言いました。髪にリボンが付いている鏡の中の自分を見つめています。保育士が「とってもかわいい。プリンセスみたい。よかったね」と言うと、「かわいい」と笑顔を見せていました。

最近、新しく設置されたおめかしコーナーは子ども達に大人気。保育士や赤ちゃん人形の髪の毛を切ったりする姿や、子ども同士で美容師、お客さんという立場になっていたり色々な形で美容室ごっこを楽しんでいます。子どもの豊かな発想や言葉でやりとりする楽しさに共感し、保育士も一緒に遊びながら楽しい経験を積み重ねていけるようさりげなく援助しています。

